



朝一小だより

活気があふれ、心が躍り、一人一人がより良く生きる学校

Tel048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校

令和5年5月1日

児童数 582名



学校の担う機能とは

校長 金子 二郎

夏を先取りしたかのような汗ばむ日もあり、笑顔で登校した児童は毎日元気に学校生活を送ることができています。保護者や地域の皆様におかれましてはご健勝のことと拝察いたします。エアコンのスイッチを入れなければならないほど暑い日もございます。熱中症にはくれぐれもお気をつけいただければと存じます。

先月21日に本校体育館で一年生を迎える会を開催いたしました。1時間程の内容でしたが、10日程の限られた時間内でそれぞれの学年が準備を進め、大変充実した学校行事となりました。



2・3年生は合唱や合奏を新入生にプレゼントし、4・5年生はクイズや寸劇で一小での学校生活のルール等を披露することができました。そして圧巻の6年生はコミカルでパワフルな演技で、全員が協力して一小の素晴らしさをアピールしてくれました。見ている一年生も「すごいな」「私も早くお兄さんやお姉さんたちみたいになりたい」と感激していました。もちろん、一年生も負けてはいません。

一人一人が楽しそうに大きな声で「どきどきどん一年生」を歌って応えました。それぞれの出し物では歓声や拍手が何度も起こり、歌声には聴衆から自然と温かな手拍子が送られました。実は4年生から2年生まではコロナ禍において入学式を迎え、全校児童揃っての迎える会は経験していません。5年生も入学の際に歓迎はされたものの、迎える時には予め用意した動画でお迎えしました。6年生も4年間のブランクで緊張したことと思います。にもかかわらずお互いの一生懸命な気持ちが確実に伝わることで体育館全体が感動の熱気にあふれ、どの学年も達成感を味わうことができたようでした。



コロナ禍の3年間で私たちは様々な知見を得ることができました。学校教育においても、例えばタブレット端末を活用した学習活動が当たり前に行われるようになり、教室で着席していなくても授業に参加できるようになりました。鉛筆と紙を使わなくともノートを残す事もできるようになりました。しかしながら人と人との素朴なかかわりについては、すべてがディスプレイとカメラによって

代わられた訳ではないようです。実際に同じ場所で同じ物を見て同じ音を聞くことでしか共有できないものがあります。3月、世界中の人に感動を届けてくれたWBCにおける侍ジャパンの活躍も生身の人間のなせる業であり、野球のテレビゲームでは決して味わうことのできないものでした。学校は十人十色の児童が集まり、集団生活を通して様々なことを学ぶ場です。刻々と社会情勢が変化し教育に対するニーズは変わろうとも、学校という場を通してでしか子供たちが得ることができないものがあるとすれば、学校の内外を問わず多くの大人の理解と協力を得ながら魅力あふれる場にするために注力し、より良い学びの場にしていくことが私たちの務めであると子供たちの笑顔を見ながら改めて感じました。



光の中を一人で歩むよりも、闇の中を友人と共に歩むほうが良い (ヘレン・ケラー)